

各位

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 尾崎 朝樹  
 (コード番号 4827)  
 問合せ先責任者 常務取締役業務本部長 兼清 美隆  
 (TEL 092-534-7210)

## 平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年5月12日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の連結業績予想及び個別業績予想と実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	170	140	80	19.28
今回修正予想(B)	2,140	213	175	124	29.99
増減額(B-A)	240	43	35	44	
増減率(%)	12.6	25.4	25.2	55.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,640	102	82	67	16.28

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300	120	100	24.10
今回修正予想(B)	1,491	139	78	19.04
増減額(B-A)	191	19	△21	
増減率(%)	14.8	15.9	△21.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,108	43	39	9.45

(注)当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度及び前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

修正の理由

#### (1) 連結業績予想

不動産事業において、前連結会計年度末に竣工しましたマンションプロジェクトによる事業利益収入61百万円が下支えとなりました。また競売部門においても大幅な利益計上とまではいかなくとも、売却実績が増加し堅調に推移いたしました。一方、ソフトウェア事業において、昨年より続くマイクロソフト社のOS「WindowsXP」の保守終了に伴う企業のパソコン買い替え需要に伴う、当社販売のパッケージソフト売上及び保守関連売上並びにパッケージソフトウェアの操作指導(スクール)による売上が好調に推移いたしました。

グループ全体でのコストダウンも功を奏し、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益いずれも前回発表予想を上回る見通しです。

なお、平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、当初予想のままとしております。

#### (2) 個別業績予想

不動産事業において、前連結会計年度末に竣工しましたマンションプロジェクトによる事業利益収入61百万円が下支えとなりました。また競売部門においても大幅な利益計上とまではいかなくとも、売却実績が増加し堅調に推移したことにより、売上高及び経常利益はいずれも前回発表予想を上回る見通しです。

しかしながら過年度よりの好調な業績に伴い、繰越欠損金が無くなったことにより法人税負担額が増大し、四半期純利益金額については計画を下回る見通しです。

なお、平成27年3月期通期個別業績予想につきましては、当初予想のままとしております。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性がございます。

以上